

資料 5

Q 上の子は大丈夫だったのですが…。

A 二人目以降のお子さんにおこりやすい難聴もありますので、ぜひ受けてください。

Q いくらくらいかかるのですか？

A 医療機関により様々です。自治体により補助のあるところもありますのでお気軽に病院スタッフにお尋ねください。

Q 新生児聴覚スクリーニングの結果や、こどものきこえやことばについて不安があるときはどこに相談すればいいですか？

A 公的機関である療育・教育機関が相談や連携の窓口にもなっています。料金もかからず、精密検査機関との連携も常にとっていますので困りごとがあれば相談してください。



きこえやことばの相談窓口 療育・教育機関

児童発達支援センターうさぎ園 (京都市児童福祉センター内) 〒602-8155 京都府京都市上京区主税町 910-25	075-801-2176
京都府聴覚支援センター (京都府立聾学校内) 〒616-8092 京都府京都市右京区御室大内 4	075-461-8121
京都府北部聴覚支援センター (京都府立聾学校舞鶴分校内) 〒624-0853 京都府舞鶴市南田辺 8 3	0773-75-1094
京都府スーパーサポートセンター (京都府特別支援教育拠点 宇治支援学校内) 〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山 1 0	0774-41-3703

精密聴力検査機関 * 難聴の確定診断をします

京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54	075-751-3111
京都府立医科大学附属病院耳鼻咽喉科 〒602-8566 京都府京都市上京区梶井町 4 6 5	075-251-5111

二次検査機関 * 精密聴力検査機関に行けない場合

京都府立医科大学附属北部医療センター耳鼻咽喉科 〒629-2261 京都府与謝郡与謝野町男山 4 8 1	0772-46-3371
市立福知山市民病院耳鼻咽喉科 〒620-8505 京都府福知山市厚中町 2 3 1	0773-22-2101

あれっ？と思ったら、悩まずに相談してください。

困りごとがあればみんなで考えていきましょう。

お子様の健やかなご成長を願っています。

赤ちゃんのきこえの検査
(新生児聴覚スクリーニング)
についてのご案内





生まれたばかりの赤ちゃんはすぐにおしゃべりはしませんが、周りの声や音を聴いて、お話をするための訓練をすでに始めています。きこえは、赤ちゃんのことばや心の成長にとっても大切です。きこえにくい赤ちゃんは1000人に1~2人いると言われていますが、生まれてすぐに、きこえているかどうかを見わけることはできません。そこで新生児聴覚スクリーニングを受けることをお勧めします。

Q どんな検査なのですか？

A 入院中、赤ちゃんが寝ているときに、ささやき声と同じ大きさの音を聴かせてあげて測ります。痛みはなく、5分ほどで結果がパス、もしくはリファーマ（要精査）と出ます。再検査が必要なこともあります。



Q 「パス」と言われたらきこえはずっと大丈夫？

A 現時点でのきこえは大丈夫です（ごくまれに例外があります）。しかし、今後、中耳炎やおたふくかぜで難聴になったり、あとから難聴がおこることもないとはいえません。母子健康手帳などを参考に、お子さんのきこえやことばに気を配り、心配なことがあれば、**住まいの保健センター等**にご相談ください。

Q 「リファーマ（要精査）」と言われたらどうしたらいいですか？

A リファーマであっても、全員が難聴なわけではなくお子さんのきこえかたは様々です。正確にきこえを診断するために**精密聴力検査機関***または、**二次検査機関***（裏面参照）を必ず受診しましょう。検査の内容やこれからのことについては、別途冊子で詳しくご説明します。

* 精密聴力検査機関及び二次聴力検査機関

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページ参照



Q もう少しあとから検査でもいいのでは？

A 入院中に受けることをお勧めします。なぜなら、きこえにくさがあれば早く見つけて、必要に応じてきこえを補ってあげることが、そのお子さんのことばや心の成長にかかせないからです。

